



Фестиваль российской культуры в Японии-2011

東日本大震災チャリティー公演

モスクワ・パントマイム劇場

〈ロシアのろう者劇団〉

Театр-студия Мимики и Жеста

コメディ (Где Чарли?)

「チャーリーはどこだ？」

奇抜でつまみ食いな

トリックが満載!

初恋を描いた陽気なコメディ

…さこそその結末は?

2011年6月18日(土)

昼公演 開場 14:00
開演 14:30 - 16:30

夜公演 開場 17:30
開演 18:00 - 20:00

会場 横浜ラポール
ラポールシアター

全席自由: 2,000円

チケットの申し込み

関東ろう連盟
〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉総合センター
群馬県聴覚障害者団体連合会気付
TEL: 027-255-6404 FAX: 027-255-6870

主催: 財団法人全日本ろうあ連盟

共催: ロシア文化フェスティバル日本組織委員会

後援: ロシア連邦外務省 ロシア連邦文化省 ロシア連邦協力庁
駐日ロシア連邦大使館 口日協会



コメディ

「チャーリーはどこだ？」

【原作】 ジョージ・アボット
【演出】 G.ヤケルソン
【振付】 D.プロトキン
【音響監督】 S.ニゾフ

【衣装美術】 N.エボフ
【衣装・メイク】 M.フォミナ
【ナレーター・通訳】 L.レヴィナ
【日本語通訳】 日向寺 康雄

【キャスト】

チャーリー：A.コリャダ
ジャック：R.フォミン
エミー：E.エヴストラトヴァ
キティ：S.ヴァクレンコ
スペックタイグ：I.レスニコフ（ロシア連邦功労芸術家）
フランシス：V.チェブイシェフ（ロシア連邦功労芸術家）
ルシヤ：T.コヴァリスカヤ（ロシア連邦功労芸術家）
ブラセット：S.ロジン



A.コリャダ



R.フォミン



E.エヴストラトヴァ



S.ヴァクレンコ



I.レスニコフ



V.チェブイシェフ



T.コヴァリスカヤ



S.ロジン



L.レヴィナ



◆モスクワ・パントマイム劇場について

モスクワ・パントマイム劇場についての多数の批評には、「ありふれていない」「独特の」「独自の」といった形容詞があふれている。1962年、聾唖のシューキン演劇大学の第1期卒業生を中心に設立された、世界で初めての聾唖の俳優によるプロの劇場である。

基本的に劇団員たちは聴力がなく、ジェスチャーや表現や所作で会話をしている。舞台制作には、音や言葉の色彩を保障し、声で非常に微妙な感情のニュアンスを伝える俳優たちが参加する。国外では、聴覚がない俳優たちの可能性を研究するだけではなく、今日の劇場の一般的な問題をも研究する研究室として認識されている。それぞれの劇場には、それぞれのテーマがあるはずである。人間の、周りの世界を理解し、その中で自分の場所を見つけないという希望は自然なものである。それが聴覚のない人間であるなら、「自分とは何者だろう？」「自分は何のためにこの世にいるのか？」という問題は特に鋭いものとなる。パントマイム劇場は、表現において独特であるばかりでなく、一般的な問題

をも包括し、芸術に奉仕することを追求め、敏感に生命を感じ、その不安や問題、痛みを実感しているのである。

モスクワ・パントマイム劇場は、40年の活動期間で、ロシアや諸外国の劇作家の戯曲やロシア及び世界の古典作品から100以上におよぶ劇を上演した。傑作とされているのは、「たくらみと恋」、「縛られたプロメテウス」、E.フェドトフの戯曲による「喜劇王の笑いと涙」、「ありえなかった、アルトゥロ・ウイの出世」、「チャーリーはどこだ？」、「カプリチオス」などである。また、同劇場では子どものために、「ガラスの心臓」「シンデレラ」「ジャングルブック・少年モーグリ」「アリババと盗賊たち」などが上演された。19年間で「シンデレラ」は1046回、定番の「ジャングルブック・少年モーグリ」が子どもたちのために上演されたのは、800回以上にのぼる。同劇場は世界の多くの国々で公演を行っており、日本公演が期待される。

◆あらすじ

19世紀、英国オックスフォード大学の学生チャーリーとジャックは、女友達を昼食に招待します。卒業を間近に控えた彼ら、レディたちの心を捕えるチャンスは今回限り…とばかりに張り切ります。しかし、若い男女だけの集まりはご法度の時代のこと、ブラジルに住むチャーリーの叔母がお目付け役として同席することに。ところが当日、時間になっても叔母があらわれないことから、チャーリーは自分自身と叔母さんの二役を演じる羽目となり…。ヴィクトリア王朝をパロディ化、格式とルールに囚われた古い時代を現代のセンスで笑い飛ばしながら、登場人物達の生き生きとした恋愛模様を描く、コミカルなトリックが満載のミュージカルです。



JR・市営地下鉄新横浜駅から徒歩約10分
新横浜駅からリフト付き送迎バス（障害者優先）を運行

横浜ラポール ラポールシアター
〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752
TEL: 045-475-2001 FAX: 045-475-2053
<http://www.yokohama-rf.jp/shisetsu/rapport/>